

キンスポ

2輪専用サーキット
近畿スポーツランド
情報発信紙
春号(第9号)
Tel(0774)88-3633
http://www.knspocm

**決定! 2017
KSLガール**
皆さんよろしく
お願いします



●相原
かなみ



●相原
みなほ

2016KTC杯近畿スポーツランドロードレースシリーズ 最終戦 KSL絶対番長UNNO★が勝利! 11回目のシリーズチャンピオン獲得

10月23日(日曜日) 晩秋の天空のサーキット 近畿スポーツランドは一日中曇天の空模様の中、12年目のシーズンの最終戦が開催された。 総参加台数137台のライダーが今シーズンの最終戦に挑み、全17クラス、15レースのし烈な戦いが繰り広げられ、6人のシリーズチャンピオンが誕生した。 最終レース、ハイエンドクラスのMGPでは番長UNNO★が完勝し、開催12回のシリーズ中11回目のチャンピオンに輝き、伝説をまた一つ積み上げた。 2位は完走率が悪く中々上位成績の残せなかったジュニアライダーの細谷が見事に2位獲得! 3位にはなんと史上初のタイプでエントリーのベテラン下が表彰台を獲得した。 全てのレースが終了した頃、晩秋の見事な夕焼けが1年の戦いを終えたすべてのライダー、関係者の心をいやした。 その後の表彰式では、各クラスに続き、シリーズ表彰も盛大に行われ、京都が生んだ世界ブランド KTC 京都機械工業株式会社をはじめ、多くの協賛企業より提供された豪華賞品の抽選会やじゃんけん大会と、暗くなる中、最後まで盛大に盛り上がり、1年のシーズンが締めくくられた。(詳細レポートは 6面)



最終戦はKTC杯 KTCコーナーで集合写真



自身 11 回目のチャンピオンを完勝で決めた番長



MYLAPS
SPORTS TIMING

SINCE
1982



トピックス
ついに! やっと! ようやく! やけくそ!
KSLがMYLAPSシステム導入!
開業以来キンスポのいや、日本の草レースを支え続けた計測システムLESCOM。 27年もの長い間、あらゆるレースのリザルトやタイム、練習走行を支え続けてきた。 として2017年近畿スポーツランドは次世代の計測システムMYLAPSを装備した計測システム MY LAPS(マイラップス)を計測システムに採用する事を決定した。 キンスポ開業以来最も大きい投資となる。 より精度の高い正確な計測はもろろんのこと、場内モニターでのリアルタイム表示、インターネットでのリザルト、ブラックティスのデータ配信、ライブ発信などの機能に加え、双方方向通信による走行車両へのデータの提供など、正に次世代のレースシステムとなる。 またライダー個人でトランスポンダーを所有するマイポスター制度をキンスポでも導入することにより、自身のタイムの管理や記録をがネット上で管理することができる。 またマイポスターを持てば、キンスポ以外のMYLAPSシステムを持つ他のサーキットでも使用することが出来、自身のレースやブラックティスの結果データを一元管理することが出来る。 2017年4月よりメインシステムを移行する予定だ。 詳細は特集ページで!



BOSCO MOTO レンタルギア
レーシングスーツ・ブーツ・グローブの貸し出しスタート!



ベリック・アレンブランドの購入を検討されている方で実際の着心地を試したい方初心者の方やレースを始めたいけど未だ購入されていない方・一度サーキット走行を体験したい方、ツナギを修理中の方、ツナギを忘れた方、エンジン系レースに参加したい方、体験走行企画の参加者の方やツーリングイベントやレース体験イベントの参加者等々……お気軽にご利用下さい。 詳しくはHPを! ご予約・お申込みは お電話で! 0774-88-3633

●特集!
威風堂々 選ばれし6人!
2016近畿スポーツランドロードレースシリーズチャンピオン!



2016 M-GP Champion

👤 宇野 正弘 (ウノ マサヒロ)

2016 FN4&FP Champion

👤 民谷 賢司 (タミヤ ケンジ)

2016 Moto4 Champion

👤 下 雄飛 (シモ ユウヒ)

2016 NSF100HRC Trophy Champion

👤 鈴木 悠大 (スズキ ユウタ)

2016 OP Champion

👤 野崎 亮介 (ノザキ リョウスケ)

2016 Kids Champion

👤 森田考希 (モリタ コウキ)

チャンピオン・インタビュー

M-GP
宇野正弘 (UNO・P★)

2015シーズンを10回目のチャンピオンで終わられてホッと一息、2016シーズンは少しのんびりマイペースで取り組んで行こうと思いつき今一度、自分を見つめ直す年にしてました。夏に海外レースをする機会もあり自分の順応性、適応力と足りていない部分が良く理解できる経験でした。その後、基本的な事を思い出し出してライディングの見直し、メンタル面の強さを鍛える練習を重視するようになりました。最終戦ではその練習の成果もあり数年振りのコースレコードの更新も出来て、11回目のチャンピオンも獲得する事が出来て良い形で締めくくられました。もちろん応援、サポートして下さい下さった方々のお陰で今の自分があるので本当に感謝しています。2017シーズンも頑張ります!!

2017

第1戦 優勝

第2戦 2位

第3戦 優勝

チャンピオン獲得数

M-GP 11回

SP 5回



他サーキットでも使える



マイポUNDER買うなら“近スポ”で!

MYLAPS
SPORTS TIMING

予約受付開始!

期間限定購入キャンペーン 2017.2.18(日)~3.20(月)

期間中にご予約・ご購入いただいた方には、その場で使える「走行割引券1,000円分」プレゼント!!

FN4 & FP
民谷 賢司

去年は新しいリアサスとリトルパーティー亀岡店様の効果で安定した成績を残せました。今年はシリーズチャンピオンは当然ですが、日本の何処かで行われるFN4日本一の称号も目指したいと思います



2017
第1戦 優勝
第2戦 優勝
第3戦 優勝
チャンピオン獲得数
FN4 4回
FN 1回



Moto4
下雄飛

近スポ杯に、エイブのM仕様で参戦する事に至った理由は、ミニモトSTクラスの参加台数が激減し、廃れて来て開催されなくなり、エイブで出られるレースが無くなったので、M仕様に仕上げたらNSFと戦えるのか?と思いチャレンジしました。蓋を開けて見ると、MOTO4クラスチャンピオンと、上出来な結果に終わる事が出来ました。エイブやXRでMOTO4やMGPに参戦してる人も居なかったので参戦し、勝つ事や入賞する事によってXRやエイブでもトップ争いは出来るんだ!と見せ付ける事が出来たと思います。XRやエイブに乗ってる皆さんの指標になり、このマシンでも勝てる筈!と迷いなく走り込めるようになったら幸いです。ありがとうございました

2017
第1戦 2位
第2戦 優勝
第3戦 3位
チャンピオン獲得数
NSF初



NSF-OPEN
鈴木 悠大

開幕前は調子がとても良く、コースレコードも更新出来たのですが、開幕戦はマオ号に逃げられました。マオ号が怪我で2戦目以降出場出来なくなったので、絶対にチャンピオンを取る!と2戦目は勝てました。最終戦は緊張し過ぎて、1年で一番悪い走りでしたが、何とかチャンピオンを取れたので、2017も頑張りたいと思います! MotoGPもNSFノーマルで闘える様に強くなります!

2017
第1戦 優勝
第2戦 優勝
第3戦 3位
チャンピオン獲得数
Moto4 初



OPEN
野崎 亮介

始めに、近畿スポーツランドロードレースを開催、管理、運営されている関係者様に、改めて感謝しております。2016年シリーズでは、OPクラスに出場に当たり、OPENエンジンをTTECH辻村代表、車体をSMGRacing兵頭代表、食事を居酒屋阿治力様にサポート頂き、非常に恵まれた環境で、シリーズを制する事が出来ました。自身のSP12やM車両とは全く別の走りを必要とされ、とても貴重な体験だったと感じます。タイヤの消耗が激しく、練習時間にも限りがある中、どういう方向性のセッティングを出し、どう勝つか?この引き出し量が少ない所に未熟さを感じました。目標であった、コースレコードにも、ほんの少し届かず、車両をカバール人間の技量もまだまだ未熟だと痛感した一年となりました。様々な方のご助力とご協力により、このような結果を残せた事は嬉しいかぎりですが、まだまだ上の走りがあると知れた事は、とても大きな糧となりました。2017年度の参戦は未定ですが、今後もマイペースながら精進したいと思っております。

2017
第1戦 優勝
第2戦 2位
第3戦 2位
チャンピオン獲得数
OP初



Kids
森田 考希

初めて近畿のチャンピオンになれたのでうれしいです。



2017
第1戦 優勝
第2戦 3位
第3戦 優勝
チャンピオン獲得数
キッズ初



モタード&ロードミドルクラス設定日が決定

2017年度より、新たにロードバイク4スト250cc等とモタード車両の専用枠のある日が設定されることとなった。これにより、12インチの50cc・100cc等と混走の普段の練習日よりお互いストレスのない練習が出来ることだろう。是非ご活用を。

特別枠対象車両

●2st 80cc~85ccのレース専用エンジン車(モトクロッサーエンジン車他)
●4st 150cc~250ccの車両 (CBR250R・R25・NIJYA250・改造スクーター他)
●150cc以上のモタード車両全般(市販車・レース専用車両) ※上記に当てはまらない車両はお問合せ下さい。
ミドルクラス設定日

3月20日(祝) 4月23日(日) 6月4日(日) 7月9日(日)

8月27日(日) 10月9日(祝) 11月23日(祝) 12月23日(土)

※詳しくは近畿スポーツランド公式ホームページをご覧ください。

開幕戦 4月16日(日) 開催!

J-T R I P 杯 近畿スポーツランドロードレースシリーズ 2017 第1戦

初心者歓迎! チャレンジクラス開催!

限界まで! 立ち上がり!!!

●チャレンジクラス新設!

●新計測システム始動!



☆ネット・現金書留・事務所

最終エントリー締め切り 4月9日(日)迄!

近畿スポーツランド公式ホームページからエントリーできます!

☆夢中になれるから楽しい! 悔しいから上達する!

スプリントレースしませんか?

ホームページ <http://www.kinspo.com/>

KINKI SPORTS LAND ROAD RACE SERIES 2017
近畿スポーツランドロードレースシリーズ2017
おかげさまで13周年
2017
R1 4/16 J-T R I P 杯
R2 8/6 小西記念
R3 10/29 KTC杯
-限界まで立ち上がり-

2017年度より新システム「MY LAPS(マイラップス)」導入。最新のタイムマシンを導入。詳しくは事務局 or website まで

ネットエントリー専用 www.kinspo.comまでアクセス

近畿スポーツランド
TEL0774-88-3633



観戦歓迎! 入場料中学生以上お一人500円必要です m(__)m



4月から本格スタートする。自動計測システムの全様だ!
KSLではなんとセクタータイムも計測!



●次世代の計測システムX-2サーバを搭載した MY LAPS (マイ・ラップス) がいいよ! キンスポの公式計測システムとしてデビューする。大きな特徴はブラクティスやレースリザルトがその都度ネット上にアップロードされ、誰でも専用のHPや携帯アプリで閲覧可能になる。また、スマホアプリのスピードファイブからはレースリザルトがリアルタイムでライブ配信される。●2つ目の目玉はピットモニターを5台設置! これによりリアルタイムでレース中の順位や周回数、経過時間ベストタイム、セクターベストなどが確認出来、チームも順位はもろろんな様な情報が得られ、戦略を立てやすくなる。●3つ目の目玉はクラシク立ち上がりS字前にセクターセンサーを設置! 前半、後半セクションのタイムを知ることが出来、コース攻略やセッティング、自分の早い遅いの把握に大きく役立つことになる。●4つ目はコース上に設置される表示板! コントロールランインを通過するライダーにラップタイムを表示するのは従来と同じだが、耐久レースではレース経過時間が表示されるので、ライダー交代のタイムミニングや、戦略も立てやすくなる。●5つ目は将来性! 近々発売される車載デバイスにより、ライダーに直接公式タイムを送信したり、レース中にはポジションや前車、後車とのタイム差、赤旗や黄旗、黒旗などのフラッグが出された場合もリアルタイムで知らせることが出来るようになる模様で、単に順位を計測するシステムから大きく進化するようだ。世界中のあらゆるスポーツで使用されている MY LAPS システムがいよいよ天空のサーキットKSLで始動する。レンタルボンダーも当面は値上げ無しで、貸出予定なので、是非新しいX-2システムをキンスポで、体験してほしい。



KSLではマイボンダーも使用可能に
キンスポでは手軽に借りられるレンタルボンダーの他、マイボンダーでの走行も可能となる。これはライダー自身が自分のボンダー(送信機)を所有することにより、ネット上で、自分のアカウントに登録し、購入したボンダーを登録することにより、練習走行やレースのリザルトを管理でき、いつでも確認することが出来る。あの時のあのレース...あのブラクティスの詳細データを一発で検索出来るのが特徴で、勿論、他人に見せたくない場合はプライベート設定もできる。なによりも毎回レンタル料を払うよりも断然お得で、ライセンス期間にもよるが、月平均2回以上キンスポでレンタルボンダーを使用する方ならコスト的にもマイボンダーのほうがお安い! ライセンス更新制で、1年・2年・5年とある。使用期限が過ぎると使用できなくなるので、その場合は更新ライセンスを購入し、引き続き使用可能だ。また、ライセンス有効期間中は無期限の保証付きで、アクシデントで破損した場合も3年に1回の限度で、新品と交換してくれる。そして、マイボンダーシステムを導入している他のサーキットでも使用可能だ。(ただし、4輪2輪モードで計測されるサーキットに限る) 使用可能かどうかは各サーキットにお問合せ下さい。

各クラスレポート

●ジェネレーシヨンクラス

オーバー40歳限定の制限タイム4.5秒までのジェネレーシヨンクラス。このクラスの予選は無く、若造は後方グリットになり人生の先輩は前方のグリットを獲得でき、年齢順にグリットを決定する。今回は8台のエントリーとなり、平均年齢46.3歳のシルバークワールの始まりだ！全車綺麗にスタートを切り、PPスタートの吉川がホールショットを奪い、小松・山田・丸野の順で1周目をクリア。3周目の1コーナーで素晴らしいブレーキングで2台をパスした山田がトップに浮上した！そして、すぐさまスタートをかける！前を逃がしたくない小松も最終コーナーで巧なラインを使い吉川をパス。後方からスタートだった河田も順位を上げていき3番手で前を追いかける！テールゾーンで迎えたファイナルラップ。幾度とラインを変えブレーキングでブッシュする小松だったが、トップの山田を捕えきれず無常にもチェッカーが降られた。見事優勝は、作戦が功を奏した山田選手・2位は小松選手となった。



優勝 山田佳正



2位 小松建治



●レディースクラス

私たちの熱き戦いレディースクラス(制限タイム4.5秒)。今回で3回目の開催となり、4台のエントリーとなった。グリットはくじ引きで決まり、PPはKaorin・小野・北川・紗由の順番でリーススタート(ジェネレーシヨンクラスと混走)。Kaorinが良いスタートを決め、フロントをアッパせながらアウト側にマシンを持っていき、男性陣を抜きにかかると！北川・小野・紗由もそれに続けと1コーナーを綺麗にクリアしていく。友人でありライバル関係のKaorinと北川は、お互い負けたくない一心でペースの上がない男性陣の後方で女の熱いバトルを繰り広げる！女性が男性を抜くのはそう簡単なものではない。Kaorinが男性をなかなか抜けずにいると北川が迫ってきた！3コーナーの立ち上がりスピードがいい北川は、再三クランクの進入でKaorinに並びかけプレッシャーを与え続ける。レース終盤6周目、前のライダーのミスの影響でKaorinが失速。絶好のチャンスが舞い込み北川がトップに出た！ラスト1周。気持ちの切れないKaorinはサイドバイサイド

で1コーナーに進入して行くも北川もアウト側から応戦する。2・3コーナーも北川が前におり勝負あり！ライバルに勝ち北川は嬉しいレディースクラス初優勝となった。



優勝 北川章子



●キッズクラス

小学生を中心に10インチロードタイヤを履いたCRF50やDRZ50を使ったキッズクラス。今回は3台でのレースで年間チャンピオンを決める大一番の戦いとなる。ホールショットは今シーズン好調キープしている森田、2番手は年間ランキングTOPの鈴木・3番手長内と続く。先行型の森田と後半型の鈴木。森田と鈴木は同じチームで練習走行から切磋琢磨し、チャンピオン争いをするライバル関係だ！年間ポイント差は、2ポイントしかなくお互い絶対に負けられない。しかも来シーズンはステッパアップをする予定の2人、キッズクラスの最後のレースとなるから尚更お互い負けられない！今大会も森田が逃げ、鈴木が追い上げる展開でレースが進行していく。レースも終盤に入り森田の好調が続く、鈴木に圧倒的なアドバンテージを築いていく。しかし前回の第2戦でトップ独走中の最終ラップでやらかしている森田なので最後の最後まで目が離せない(笑)。だが今回は終始トップを守り、見事トップでチェッカーを受け、優勝と年間チャンピオンに輝いた！



優勝 森田考希



●バトルウォースクラス

異種格闘によるポイント制レース。レース順位のポイントに車両ハンドルの係数(1倍〜2.23倍)をかけて総合ポイントにて順位を決定する形のレースだ。今回は、全8台で決勝の火蓋が切られた！やはりOP仕様の田村とMr.ポポが逃げ、FP4ST仕様の死神・民谷・三浦・中尾、M仕様の河野と続くオーダーでレースが進んでいく。3周目の1コーナーで中尾がリアから痛恨の転倒で戦線離脱！3番手の死神と民谷の師弟争いが過熱し、最終コーナーで毎周順位を入れ替えながらバトルをしていく。安定してTOP2台が走行しチェッカーを受けたが、車両ハンドルのポイント計算をした結果、1位FP4ST仕様の死神・2位FP4ST仕様の民谷となった。



優勝 死神博士



2位 民谷賢司



●ルーキークラス

若者男女さまざまライダーが走行する、初心者向け制限タイム4.9秒のルーキークラス。今回は8台での決勝レースがスタートされた！ぶつちぎり予選1位の「KTC」の走る広告塔！小池がホールショットを獲得！ピタリと紗由が続き、6番グリットの松田が素晴らしいスタートを決め、3番手に浮上！4番グリットのジュニア神谷は、スタートミスで大きく順位を落とした。2周目のストレートで内田が松田を捕え、3番手に浮上し制限タイムを切りながら現在2位の紗由を追いかける。しかし上位2台とのGAPが全く縮まらない。そう上位2台も制限タイムを切りながら走行を続け、7周のレースのうち5周もタイムを切ってしまう、上位3台は名誉の賞典外となってしまった。見事優勝したのは、近スポRR初参加・初優勝の松田選手に輝いた！スタートミスで最下位まで後退したが着実に1台ずつパスし、神谷選手が2位となった。



優勝 松田善隆



2位 神谷耆星



●Moto4クラス

4ストM使用で戦われるチャンピオンシップMoto4クラス。第2戦終了時点で、下が2連勝でチャンピオンがほぼ確定している中、ポールの森田が一矢報いるか?注目のレース。序盤から下と森田のトップ争いが白熱!3番手田村、後藤田、布施川と続く。2周目1コーナーで、下と森田が接触し、森田が失速してしまい、下のアドバンテージが増え、このまま逃げ切り、下の全勝チャンピオンか?と思われたが、高校生ライダーで、今、最も勢いのある森田が激しい追い上げを魅せ、徐々に差を詰めてきた。一方3番手争いは、後藤田、田村、布施川の3つ巴となっていた。残り3LAPには森田が下を追い付いた!そしてファイナルラップ1コーナーで森田がインに飛び込みトップに浮上!このまま逃げ切るとかと思いきやリトバコーナーで、下が森田のインをつくが、曲がり切れずに森田の後輪に接触し森田が転倒!転倒をなんとか免れた下がトップでチェッカーを受けるが、のちに下がペナルティで、2順位降格処分になり優勝は3つ巴を制した田村!2位に布施川が入った。そしてペナルティとなったが、2戦連続で優勝した下が見事にチャンピオンに輝いた。表彰式での田村の「勝ちは勝ちです」のコメントはすばらしかった。



優勝 田村嘉宏



2位 布施川 澄



●M13クラス

伸び盛り!伸び悩み!伸び切り!(笑)色々な個性のライダーが鏖るM13クラス。制限タイム46秒5のクラス。最終戦は11台の戦い!スタート直後1コーナー手前でいきなり2台が絡む転倒!予選3位のドラゴンのザノーサーさんとベテラン丸野選手だ。2台とも再スタートするもの、上位争いからは離脱してしまう。素晴らしいスタートを決めたポールの河野がトップ!2番手にミルキー事、大岩、3番手に北陸の有賀、以下岡村、肉食女子の小野、初参加の小坂谷と続く。トップの河野の背後にピタリと付ける大岩少し離れて有賀という展開の中膠着状態。河野の背後に不気味に付ける大岩が動いたのは最終ラップの1コーナーでギリギリのブレーキングで河野を捉えトップに浮上!そのまま逃げ切った大岩が見事に優勝!2位に河野、3位は終始単独走行の有賀が入賞を果たした。



優勝 大岩未瑠樹



2位 河野正純



3位 有賀永敏

●CBR250Rトリムカップ

ホンダCBR250Rを使ったワンメイクレース。Eクラスは鈴鹿サーキットで行われるグランドチャンピオンシップ(全国大会)への出場権をかけて重要な一戦である。Bクラスもツインリンクもてぎに出るの一戦である。今大会はEクラス2台・Bクラス1台でのレースで行なわれた!同ポイントで並んでいる佐野兄弟バトルとなった決勝は、PPからスタートした勝人(弟)がホールショットを奪い、優人(兄)が離すまいとビタリと付ける。テールツノーイズで、優人が1コーナー立ちでラインを変え、2コーナーで勝人のインに姿を出し余裕があるように見える。常に勝人にプレッシャーを与えミス誘発する作戦か?5周目3コーナーで加速が鈍った勝人に優人が並び、クラック進入で前を取り作戦が成功した!しかし、翌周1コーナーのブレーキングでは勝人が優人のインを取り再びトップへ浮上!トップを取り返すと、すぐさまスタートをかけ、ファーストストラップを叩き出し、優人との差を1秒のアドバンテージを築くのに成功し、そのまま逃げ切り、佐野勝人が見事優勝とグラチャン出場の権利を獲得した!Bクラスは、安定した走りでもルキークラスと合わせて2つの嬉しい優勝に輝いた松田選手となった。



優勝 佐野優人



優勝 松田善隆

●M17クラス

群雄割拠!ジュニアからベテランまで、ハイレベルで激しい戦いが繰り広げられるM17クラス決勝は19台でのスタート!スタート直後3コーナーで、17インチの前田選手が転倒してしまう。1周目トップは中村、2番手は17インチの永田、3番手は北陸のトニー、以下岡村、山本、ミスターポポ、大林、堀井、正垣と続く。各所で、激しいバトルが繰り広げられる中、レース序盤にトニーが永田を捉え2位に浮上!3番手永田、4番手に若手の山本が上がってきた。レース中盤2番手につけていたトニー選手がクラック手前で痛恨の転倒!戦線を離脱してしまう。時を同じくして岡村も2コーナーで転倒し、大きく順位を下げてしまう。これによりトップは中村、2番手山本、3番手永田、以下Mrポポ、大林、堀井という上位オーダーに。このまま中村がトップでチェッカーを受けるも、フライング判定で、一順位降格処分となり、永田の猛追を振り切った山本が見事に優勝!2位中村、3位は17インチの永田、4位にベテラン大林、5位にジュニアの堀井が入賞を果たした。

優勝 山本零

2位 中村焯

3位 永田勝史

4位 大林義紀



5位堀井颯大

●Z125PROクラス

特別開催クラス 本年度新発売されたカワサキのライトバイクZ125PROのワンメイクレース。巷で噂のZ125の戦闘力がどれほどのものか?場内の注目が集まった。カワサキモータースジャパン様のご協力により、初開催に7台のエントリーが集まった。カワサキ伝統のライムグリーンのマシンの集団が一斉にスタート!オープニングラップを制したのは脇坂、以下阪上、三上と続く。この3台が抜け出し、トップグループを形成する。2周目最終コーナーで阪上が脇坂をかわし、トップに浮上すると逃げの体制で、単独走行になるが、なんとS字手前で周回遅れの選手に追突してしまい転倒してしまうという大波乱が起きてしまった。再スタートするも大きくおくれしてしまう。その間に再びトップに立ったのは脇坂!三上と



のマッチレースの様相だ。そして残り2周の3コーナーで三上が脇坂を捉えトップに浮上！そのまま三上が逃げ切り、全国初開催のZ125P ROWNメイクルースを制した。



優勝 三上康彦



2位 脇坂正人



●HRCグロムCUP

第2戦から開催のHRCグロムCUP 新発売されたグロムのワンメイクルースだ。今回は5台のエントリーで開催。ポールの楠と後藤の戦いに注目が集まる中、レーススタート！ ホールショットは楠！予想通り後藤が背後につける。3番手は清水、4番手に笹というオーダー。楠と後藤が抜け出し、2台のトップ争いに・・・トップは楠、背後の後藤がチャンスをつとめる。・・・膠着状態が続く、レースが動いたのは残り3周のところ後藤が1コーナーで楠の前に出た。直後の2コーナー手前の楠のクロスもなんとかしのいでトップ浮上！ 逃げる後藤、追う楠、そして運命のファイナルラップの1コーナー！ 鋭い切れ込みから後藤のインをつく楠！ 後藤もアウトながらスピードに乗せ2コーナー進入でサイドバイサイド！ どちらも譲らず、いや譲れずに接触！！ 後藤痛恨の転倒！ 激しい2人の戦いは楠に軍配が上がった。2位後藤、彼にとっては非常に悔しい結果になった。この接触で審議となったが、レーシングアクシデントとして楠の勝利が確定した。来年度は年間3戦のチャンピオンシップとなるこのクラス。2017のチャンピオンは？ 今から楽しみである。



優勝 楠 貴裕



2位 後藤憲治



●M12クラス

制限タイム45秒までのクラス。18台エントリー。性別や年齢など関係なく同じ土俵でレースをする白熱のM12クラス。全車一斉にスタートをしたが、15番グリットのジュニア澤合が大きくウイリーをしてしまい転倒！その後、再スタートするもトラブルにより、リタイアとなった。ホールショットはフリーザが獲得！ 以後、山田・ばにばに・・・水池・高原・Kaorinと続く。4番グリットの水池が山田・ばにばにを交わし2番手に浮上。PPスタートのジュニア高原は加速が鈍り、5番手に後退。しかし、着実に一台ずつパスしていき4周目に3番手まで回復。トップはフリーザ・山田・高原・水池・ばにばに・岡村の順でレース折り返しを迎える。トップ争いはフリーザ・山田・高原の3台に絞られてきた。ラスト5周の所で高原が山田を捕え2番手に浮上！そして1コーナーでフリーザも捕えトップに上り詰めた！だが無情にも、この時に制限タイム45秒を3回切つてしまい名譽の賞典外となってしまふ。まだまだ荒削りなジュニア高原だが、今後の成長に期待！ トップでチェッカーを受けたのは一年前、同クラスのスタート直後に転倒で大ケガをし、見事復活優勝をしたフリーザ選手となった。2位は山田・3位水池・4位ばにばに・5位岡村の順位でレースを終えた。表彰式では入院中苦労を掛けたフリーザが娘さんに感謝！父フリーザの眼には心なしか熱く光るものがあった。



優勝 フリーザ



2位 山田佳正



3位 水池成弘



4位 ばにばに



5位 岡村海美



●NSF100HRCトドワイ

茂木グラチャンの出場権もかかるこのクラス、開幕戦優勝のまお号の欠場で、チャンピオン争いはジュニアの鈴木、ベテラン神原、九州から遠征での参加の彌榮、ベテラン後藤と大人、子供入り乱れた争い！ ポールはなんと同タイムで、彌榮！2番グリット鈴木、3番グリット神原でレーススタート。ホールショットは彌榮！以下鈴木、神原、中村、後藤、澤合と続く・・・2周目1コーナーで彌榮の前に出ようと鈴木、神原が同時に仕掛けるが、彌榮が守り、神原は2番手に浮上する。3周目1コーナーで神原がいぶし銀なブレーキングで前に出て、トップに浮上！ 子、孫級の年齢差と体重差がありながら、相変わらず見事である。トップに立った神原は逃げを打つためにペースを上げるが、後ろのジュニア2人も必死に食らいつく！4番手はM12クラスの後藤だが今日はペースが上がらず苦戦模様だ。レース中盤、1コーナーで、再び彌榮がトップに浮上！ 神原も食らいつく！チャンピオンのかかる鈴木は様子見の展開か？終盤彌榮が逃げの体制に、神原も必死で追うが追いつけずにチェッカー！九州から遠征の彌榮初優勝！神原惜しくも2位！3位鈴木となり、シリーズチャンピオンには鈴木が初チャンピオンに見事輝いた！



優勝 彌榮 郡



2位 神原浩二



2位 鈴木悠大

●FN4&FPクラス

10インチスクーターによる4ST125ccのノーマル車両と2ST50ccの準改造車両での同一章典のレース。今回は10台のエントリーとなった。4ST125ccの車両は特にドレスV125での参戦が多いが、この車両はリアサスペンションのみの変更しか認められておらず、ほぼノーマル状態ではあるが、車両のポテンシャルも非常に高く、保安部品を外せばすぐにレース車両に生まれ変わる夢のような車両だ！ またメンテナンス費用もオイル代とタイヤ代と燃料だけでいいようで、安価でレースに出場できるのが、魅力なクラスだ！ さあ、レースの方はPPスタートの民谷を先頭に死神・中尾・三浦の大西塾の面々が続き、藤田・リトパノ・永田・伊藤というオーダーだ。ペースの上がない中尾を三浦が1コーナーの進入で捕え3番手に浮上！ 今大会3クラスエントリー

(4レース出場)の永田も2コーナー立ち上がりでリトバーノを交わし順位を上げていく。トップ争いだが、民谷と死神と一騎打ちの様相となっている。死神が得意とする地獄へと引きずり込む死神ライン(最終クロスライン)の伸びが悪く、なかなか勝負が仕掛けられない。そうこうしているうちにファイナルラップに突入し、ファーステストラップを叩きながら逃げる民谷を捕えることが出来ず、チェッカーとなった。見事3連勝でシリーズチャンピオンも決めた民谷が優勝、2位死神、3位三浦となった。



優勝 民谷賢司



2位 死神博士



3位 三浦康大

●OPクラス

排気量の制限内なら改造無制限のOPクラス。今大会は6台でのレースとなる。PPスタートのMr.ポポがホールショットだ!野崎・JK田村・中島・岩倉・畑と続き1周目をクリア。野崎がMr.ポポにピタリと付けチャンスをとっている。3周目の1コーナーで田村インに中島が入り3番手に浮上!凄まじいストレートスピードのKSR中島もトップ争いに加わり三つ巴のバトルに発展していく。インフィールドは少し離れてしまうがストレートに帰っていると追いつき、1コーナーで野崎を捕えようとブレーキ勝負を仕掛ける展開が続く。野崎は少しハンドのあるSP車両で出場しているがブレーキング・コーナースピードは野崎に分があるはずなので、もっと頑張らなければならぬが、なかなかMr.ポポを捕えられない。逆に中島からのプレッシャーが強く、前に集中出来てないようだ。飛んでもいいぐらい強い気持ちを持ってレースに挑んで欲しい。レース終盤やはり中島が1コーナーで野崎のイン側にマシンを捻じ込んで来た!しかしオーバーラン気味の突っ込みだったので野崎にクロスラインで抜き返される。だがクラシクスの進入でも横に並び、勝負を仕掛けに行くが若干野崎の方が速く、そのままのオーダーでファイナルラップを迎える。ファイナルラップにレースベクトルを出し猛追した中島だったが、ギリギリ届かず悔しい3位となった。見事優勝は、一度もトップの座を明け渡すことなく守り続けたMr.ポポとなった。2位は平成元年生まれの野崎だが、近スポRR初の年間シリーズチャンピオンに輝いた!

●MIGPクラス

ライトバイクレースMクラス日本最高峰!キンスポ名物!ハイエンドクラスM・GPクラス。2017年最終戦の最終レース!現金大予想の投票も出そろい、千秋楽本日の打ち止めレースに場内は多くのギャラリで埋め尽くされた。ランキングトップの番長UNO・Pは37ポイント。2番手の鈴木は30ポイントと7ポイントの差があり、よほどの事がない限りUNO・Pのチャンピオンは濃厚だ。しかし、このクラスで勝つことは最大の名誉のため、1勝を狙う若者、ベテランが鎧を削る。日が西に傾き始めた頃、全19台のファイナリストが2017最後の戦いに挑んだ。が、スタート直後に多重クラッシュ発生!赤旗中断となりレースは仕切り直しとなった。再スタート!ホールショットは?やはりポールのUNO・P★2番手には、なんと先ほどMotog4でペナルティーを受けながらもチャンピオンを決め、勢いに乗る下が2番手!3番手にクリスタル、4番手にジュニアライダーの細谷、以下榊原、彌榮、と、鈴木、森田、田村、17インチ津田と続く。序盤からUNOが次元の違う速さを見せ、単独走行に。2位争いは下、細谷、クリスタル、さる先生の4台!2周目1コーナーで細谷は下を捉え2番手に浮上!いまままでいいところにいながらも完走率の非常に低い細谷、今回も不安が頭をよぎる(笑)。限界のスピードでのレースに緊張の膠着状態が続く。後方でも各選手が一つでも前へ!と激しい接戦が場内を魅了する中、残り周回数に着実に減っていく。最終ラップ4番手に甘んじていたクリスタルが1コーナーから2コーナーにかけて、下に仕掛けるも接触!失速してしまふ。このまま番長UNO・Pが大きな差を保ち完全勝利!2位には細谷が見事に完走し、ようやく表彰台を獲得した。3位には最終戦エイブながら素晴らしい走りを見せた下がエイブでは快拳ともいえる3位表彰台を獲得し、M特別使用のエイブのポテンシャルを証明した。4位にはクリスタルが辛くも入賞を果たした。これによりキンスポ番長UNO・Pが年間チャンピオンを獲得!なんと同クラス11回目のチャンピオンという自らの金字塔をさらに高く積み上げた。ランキング2位にクリスタル、そして3位は下となった。



優勝 Mr.ポポ



2位 野崎亮介



2016年度12年目のシーズンが終了し、戦い終わった選手たちに、紅に染まった空が喜怒哀楽様々な選手、関係者の心を癒した。さて2017年どんなドラマが待っているのか?戦いはもう始まっている。2017開幕戦は4月16日(日曜日)J-T R I P杯

優勝 UNO・P★

(文 田中康彦 和田昌文)



2位 細谷 翼



3位 下 雄飛



4位 クリスタルけいちゃん





KTC杯
フオトスナップ



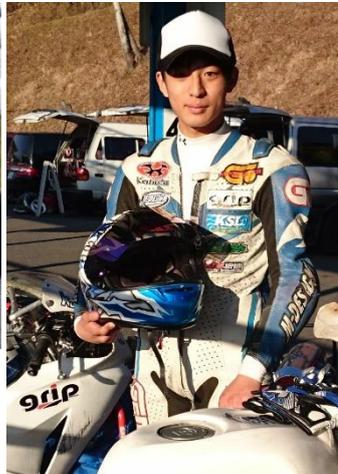
2017 年度近畿スポーツランド 主要レース・イベントカレンダー

今年も 3 月 26 日のルーツを皮切りに全 19 レースが予定された (3 月現在)。本格スプリント選手権の K S L R R シリーズはもちろん、去年大成功を取めた 8 耐全員集合も開催決定！サテライト・滋賀フェス・OSU というおなじみの人気レース、レン耐、式輪道など個性豊かな参加型レースも盛りだくさんだ。そして 39 カップとバイチャリがコラボした 39 バイチャリ CUP なるものも開催！どんなレースになるのか？今から楽しみだ。そして去年過去最高の盛り上がりを見せた大人気レース北川圭一杯！友達を誘って是非<m()m> 詳細はキンスポ公式HPのトップバナーから各主催者のページにGO！ エントリーはお早めに<m()m>

3月26日(日)	ルーツザ原チャリ(第53回)	耐	ス	他	主催者HP
4月 2日(日)	デグナーミニバイクレース	耐	ス	他	主催者HP
4月16日(日)	KSLロードレースシリーズ 第1戦	耐	ス	他	主催者HP
4月30日(日)	サテライトステージ 全日本カブ耐久 第1戦	耐	ス	他	主催者HP
5月14日(日)	バイチャリ耐久	耐	ス	他	主催者HP
5月28日(日)	滋賀モーターサイクルスポーツフェスタ	耐	ス	他	主催者HP
6月11日(日)	OSUライダーズカップ	耐	ス	他	主催者HP
6月25日(日)	働くバイク8耐だよ全員集合	耐	ス	他	主催者HP
7月23日(日)	Let's レン耐	耐	ス	他	主催者HP
8月 6日(日)	KSLロードレースシリーズ 第2戦	耐	ス	他	主催者HP
8月12日(土)	サテライトステージ 全日本カブ耐久 第2戦	耐	ス	他	主催者HP
9月10日(日)	DS式輪道CUP	耐	ス	他	主催者HP
9月24日(日)	ルーツザ原チャリ(第54回)	耐	ス	他	主催者HP
10月 1日(日)	滋賀モーターサイクルスポーツフェスタ	耐	ス	他	主催者HP
10月15日(日)	39バイチャリcup	耐	ス	他	主催者HP
10月29日(日)	KSLロードレースシリーズ 最終戦	耐	ス	他	主催者HP
11月19日(日)	サテライトステージ 全日本カブ耐久 最終戦	耐	ス	他	主催者HP
12月 3日(日)	北川圭一杯	耐	ス	他	主催者HP
12月10日(日)	OSUライダーズカップ	耐	ス	他	主催者HP

耐 耐久レース ス スプリントレース 走 走行会 他 その他のイベント

キンスポ杯 ライダーファイル VOL13



●プロフィール
氏名 森田 勇希 (モリタ ユウキ)
年齢 17歳
趣味 ミニバイクレース
職業 高校生
好きな食べ物 お寿司
特技 笑うこと

本人コメント モト4 チャンピオン！M-GP 入賞を取りに行きます！近スポ love です！

●キンスポ期待の超若手ライダーの森田。 K S L ライディングセミナーでメキメキと実力を伸ばし、NSF で 42 秒前半をコンスタントに記録する実力を身に着けた。今年はM-GPのファイナリストとして表彰台を狙う。笑顔に純真さが残る 17 歳の高校生ライダーだ。今一番練習に励んでいるライダーの一人！ 2017 ズバリM-GP表彰台！そしてMoto4 チャンピオンを！



2017 KSL ガール決定
今年の K S L ガールを紹介させていただきます。相原かなみ(写真上)、相原みなほ(写真下) なんと、このお二人は「実のご姉妹です。皆さんよろしくお願ひします△m()m△」



全日本カブ耐久&サテライトステージ
開幕戦 4月30日(日)開催!!
<http://www1.kcn.ne.jp/~happyend/>



飛翔 特別篇

桟口遥希（ノクキハルキ）がアジアタレントカップに挑戦中

速報！初戦タイラウンド・レース2で3位表彰台獲得！！

2013年度M-EX（M・G・P）シリーズチャンピオンで、昨年第2戦もM・G・Pを制した新高校生ライダーの桟口遥希がG.P.ライダーの登竜門！アジアタレントカップのライダーとして選ばれた。この大会はアジア・オセアニア地域の有名なヤングライダーを擁する目的で開催され、今年度は19カ国で600名以上の応募の中から書類審査に選ばれた152名がマレーシアのセパインターナショナルサーキットの最終選考会に招待され、17名に絞られるという狭き門に合格した。6大会12戦で争われ、初戦タイラウンドで、レース1は6位、レース2では3位表彰台を獲得し、総合ランキング3位につけた。レースでは何度もトップに立つシーンが見られ、特にレース2では終始レースをリードするも、最終的には惜しくも3位のフィニッシュとなったが、今後の活躍は今後の益々期待できる結果となった。キンスポでは新設された、ビットモニターで特別に生中継が流され、大きな歓声がこだました。ハルキのこれからの活躍に目が離せない！



Copyright © 2017 Dorna Sports



キンスポでは生中継！ 新設ビットモニターで応援

色々 販売してます！！



- B S 新品・中古タイヤ ● ワコーズ製品
- 純正パーツ ● ゼッケン ● 公式ステッカー
- インスタントラーメン（お湯・箸付き）
- 一休お風呂券 ● 売店（阿治力）
- I S A スプロケット

編集後記

やつちゃんの独り言Z VOL9

ども！ハルキのタレントカップ！楽しみですね。生き馬の目を抜く芸能界で、頑張って立派なタレントになってほしいですね。さて、キンスポもいよいよ計測システムが入れ替わるわけですが、今回それにとともに引退するシステムRESCOM...開業以来30年近く皆さんの練習、レースを支えてきたこのシステム。今月で最後と思うと本当にさみしいです。雨の日も、風の日も、落とされても、撥ねられてもボロボロになりながらも多くの名勝負を支えてきたこのシステム。中々、手のかかるやつでしたが、キンスポはお金がなくてシステムの入れ替えが出来なかったため、大事に大事に使ってきました。30年前に開発されたこのシステムですが、今回新システムの導入で、すごく驚いた事がありました。新システム試験のためにライダーにお願いして両方の送信機を付けていたのですが、驚くことに1000分の1単位の世界で、ほぼ同じタイムを表示する事に大きな驚きを隠せませんでした。誤差は大きくても1000分の3程度で、6割は新システムと同じタイムを表示しました。どっちが正しいか知る由もありませんが、以前、とある掲示板が修理依頼で来た時に1000分の1表示の単位を見て、こんなボロボロの昔のシステムで1000分の1の表示は適当でしょうねえと笑われたことがありました。なんか馬鹿にされたみたいで、悔しかったことを覚えていますが、今更ですが、改めてこのシステムの開発者の技術と情熱に心から敬意を表します。物づくりの日本の開発者の技術と再確認できた瞬間で、少し誇らしく思えました。（私が開発したわけでもないのですが）開発業者さんは今ももうありませんが、いろいろな人の思いが込められたRESCOMともうすぐお別れです。雷やらトラブルで本当に維持管理大変でしたが、今ではいい思い出になりました。RESCOMへ 今まで本当にありがとう。

やつちゃん



RESCOM
長い間ありがとう
そして、お疲れ様.....

(^0^)/なれるより習え！ KSLライディングセミナー 受講生募集！！

